

各地区業況アンケート結果（2019年6月調査分）

（2019年6月25日）

全国鉄鋼販売業連合会

6月24日締切で、当会役員149名に対しこのアンケートを行ったところ80名の回答があり（回答率53.7%）その結果が下記のとおりまとまりましたのでご報告致します。なお、本結果は鉄流懇など重要会議に資料として提出しています。

※ $DI = (A \times 2 + B \times 1 - D \times 1 - E \times 2) \div \text{総回答数} \times 100$ 、（数は回答実数）

1. 売上数量、5割の企業が前年同月比減少

問1】貴社の5月（先月）総売上数量・総売上金額は、前年同月と比し如何でしたか？（答）

	A. 10%以上増	B. 5%以上増	C. ほぼ横這い	D. 5%以上減	E. 10%以上減	計	前回
売上数量/前年同月比	3	13	24	20	20	80	76
比率	4%	16%	30%	25%	25%	DI-51	DI-9
売上金額/前年同月比	4	14	25	24	12	79	76
比率	5%	18%	32%	30%	15%	DI-33	DI±0

2. 黒字は5割強、収益徐々に悪化

問2】貴社の5月（先月）の鉄鋼部門における企業収益状況は、如何ですか？（答）

	A. 黒字	B. 若干黒字	C. 収支トントン	D. 若干赤字	E. 赤字	計	前回
企業収益状況	13	27	18	14	6	78	75
比率	17%	34%	23%	18%	8%	DI+35	DI+61

3. 低調な販売状況変わらず

問3】貴社の営業窓口から見て6月（今月）の販売量は、前月に比し如何ですか？（答）

	A. かなり増加	B. やや増加	C. ほぼ横這い	D. やや減少	E. かなり減少	計	DI	前回
公共建設向		6	34	17	2	59	-25	-39
民間建設向	1	11	37	15	2	66	-9	-30
自動車向		3	31	5	1	40	-10	-23
その他需要家向	1	6	40	19	3	69	-25	-40
仲間取引		4	42	19	2	67	-28	-38
計	2	30	184	75	10	301	-20	-35
比率	1%	10%	61%	25%	3%			

4. 夏場も盛り上がりなく横ばいで推移

問4】貴社における向う7月から9月までの需要動向について貴殿の予測は如何ですか？（答）

	A. 増加	B. 微増	C. ほぼ横ばい	D. 微減	E. 減少	計	前回
短期需要動向予測	2	27	30	15	4	78	74
比率	3%	35%	38%	19%	5%	DI +10	DI +4

5. 全品種、過剰ぎみ傾向へ

問5】下記主要品種の貴地区市場の需給状況は如何ですか？貴社の取扱品種のみについてご記入ください。(答)

5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	品種別	A	B	C	D	E		6月
D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	需給状況	非常に不足	不足気味	需給均衡	過剰気味	非常に過剰	計	D I
0	-7	7	-3	3	0	0	19	11	0	0	6	0	鉄筋用丸鋼		1	25	3		29	-7
10	13	13	0	6	15	7	0	0	-3	0	-6	-3	構造用丸鋼			26	5		31	-16
-3	-6	0	-9	-3	0	-3	3	0	-3	3	-8	-8	平角鋼			31	3		34	-9
-3	10	9	9	3	18	41	41	36	15	11	-8	-24	H形鋼			25	7		32	-22
38	59	67	76	81	100	125	89	120	85	57	25	12	コラム		3	21	2		26	4
-6	0	-9	-8	-3	-11	5	3	-6	-11	-8	-3	-10	小形山形鋼			32	5		37	-14
-12	-3	-14	-11	-8	-11	3	3	-6	-14	-8	-15	-15	中形山形鋼			31	6		37	-16
-9	-3	-6	-11	-3	-11	5	0	-9	-11	-3	-13	-19	溝形鋼			29	6		35	-17
-14	-11	-3	0	-9	-16	-6	-14	-9	-16	-9	-3	-12	軽量形鋼C形			27	3		30	-10
-15	-10	-11	-9	0	-5	-5	-5	0	-9	0	-12	-10	軽量形鋼広巾			19	1		20	-5
14	13	8	4	7	12	8	12	0	-3	0	-21	-32	冷延薄板		1	17	11		29	-34
23	12	11	-3	-3	0	17	14	16	-3	-3	-21	-28	熱延薄板		1	19	12		32	-34
33	27	14	3	6	3	0	8	0	-7	-10	-32	-43	表面処理鋼板			18	12	1	31	-45
25	18	11	-3	-3	-10	20	34	16	3	0	-25	-39	酸洗鋼板		1	19	11	1	32	-38
19	16	7	5	7	7	20	20	18	7	0	-13	-19	中板		1	25	14		40	-33
14	14	10	23	31	41	49	45	36	15	17	0	-10	厚板			29	12		41	-29
13	0	0	11	25	13	33	19	6	19	5	0	-13	極厚板			15	2		17	-12
-10	-3	3	3	-3	-7	0	6	-6	6	0	0	0	縞板			25	4		29	-14
-5	-12	0	-7	2	3	16	3	0	-5	-10	-8	-18	中径角		1	31	7		39	-15
-8	-6	10	2	-5	0	3	8	13	2	2	-8	-8	ガス管黒			35	5		40	-13
-8	-12	3	-2	-5	-3	-3	-8	0	-5	-5	-13	-19	構造用鋼管			36	2		38	-5
4	5	5	2	5	5	14	14	10	2	1	-9	-15	計	0	9	535	133	2	679	-19

6. 需要はいまだ盛り上がりず市況は弱含み状況

問6】貴社の地域の景況、主力取扱品種の需要動向は如何ですか？地域の特殊事情・需要動向・信用問題などを織り交ぜて、概況をお知らせください。(答え)

北海道	A	一般形鋼の荷動きは前年度とほぼ同じ。在庫を減らしたいが、メーカーの入荷が好調で在庫減に至らず、契約残減となっている。
	B	5月、6月に入り、荷動きが出てきた。スクラップが下落傾向だが、丸棒の価格は強含み横這い。様子見が続いている。
東北	A	連休明け後、静かな状況で、荷動きも今ひとつ。先々の見積りはあるものの依然としてボルトの影響が大きく仕切り直しの案件が出ている。
	B	5月、6月と丸棒を中心に出荷是好調。新規物件が少ないので夏場以降不安。
	C	新規案件は先物が多く、契約残を消化しているような状況。見積件数は増えてきている。
	D	積算物件が少ない。受注残が減る一方、新規物件は単価も粗利も低下。
新潟	A	5月連休前から連休後は全く引合いがなくなり、どうなる事かと思っていたが、6月になって漸く小口ではあるが仕事が出始めてきた。関東での相場の崩れの影響が出ている。
	B	荷動きは停滞気味。市中在庫の増加から安値売りが始まるのが心配。高力ボルト入手難から仕事を見送るところもある。
	C	4～6月は稼働日数の割に上向きの推移。今後の動向は盛上りに欠ける。東鉄の値下げの問題もある。
	D	新規物件の引合いが少なく、現状価格の維持が精一杯。
	E	入荷は順調だが、売上がさっぱり。忙しい業種が見当たらない。
	F	ボルト不足の影響で中小の鉄骨需要が停滞している。鋼材のタイト感も解消されつつあるので、価格を崩さず、慎重な商売を心がけたい。
	G	地場産業の暖房、建築金物、自動車は盛上りを欠く。産業機械輸出の低調、建機は横這い。建築関連は大きな地場物件もなく中小ファブは秋頃までの受注残となっている。
神奈川	A	相変わらず素材販売（仲間商売）が低位安定の感じである。しかし、一次加工含んだ依頼は良い状況だと思われる。
	B	工作機械向けの需要が落ち込んでいるが、公共建設、民間建設は安定して受注を頂いている。
東京	A	供給サイドに余力が出てきたのはいいが、需要に落ち着きがある分、在庫バランスに注意している。定尺品の安値が飛び交わないような販売環境を維持していきたい。
	B	中国の景気後退などの影響から建機関連の受注も減少。去年11月をピークに毎月減少傾向である。
	C	(鋼管) 5月は連休による日数減で、前年割れだったが日割りの出荷量は増加している。先行きやや不透明感が出てきている中、価格動向が注視される。
	D	(鉄筋) 昨年と同じく、6月の荷動きは良くない。7月後半頃から荷動きが出てくるのではないかと思われる。
	E	構造用鋼は特に大きな変化なく、1月以降低調に推移。特に店売りは工作機械、産業機械の影響もあり、当用買いが主体である。市況は横這いもここへきて少々弱含み傾向である。

東京	F	とにかく悪い。鋼板（厚板、中板、冷延、表面処理、酸洗）棒鋼、条鋼、軽量形鋼、鋼管と扱い品種のすべてが前年同月比10%減である。特に鋼板類の落込みが激しく精密板金向けの案件で顕著である。地場の土木、建築の動きに大きくブレはなく、丁寧に物件を拾い繋いでいる。
	G	建機、産機向け鋼材を中心に取り扱っているが、国際的な貿易摩擦を主因に需要家の製品在庫が増加傾向にあり、生産調整が行われている。需要によっては後半持ち直すとする向きもあるが、依然、不透明な状況。
	H	（厚板）橋梁、建築、免震装置分野は順調に推移。
	I	4月はGW前の仮需により販売量増。その反動が在庫増と相まって、ここしばらく、昨年度見渡しても最低の5月販売量となった。さすがに6月は5月より増えるだろうと思っているが世の中の在庫状況によっては売れない状況は暫く続くと思われる。
	J	建築向けおよび機械設備投資が減少しているため荷動きは減少している。但し、一部メーカー向けは好調を維持しているので、全体的にほぼ横這いとなっている。厚板は造船関連が大幅に減少しているため、在庫は過剰ぎみとなり、年内の回復見込みは低い状況となっている。
	K	GW明けから荷動きがぱったり止まった感がある。
静岡	A	総じて繁忙感は薄い。諸流通から一次、二次加工の依頼（材料支給）を請け負っている。ファブ以外の鉄工業者が多く見受けられる。流通グループ内で補助しているのか倉庫販売関連がない。受注はあるもデリバリーの「待った」が続いている。どこで堰を切るのか違和感がある。地場の公共案件は東、中、西部ともに情報誌を飾るものはない。民間の案件も総じて引合いは極少。流通は店売り大手も売り焦り感はない。実に変な環境としか言いようがない。直需流通大手の営業担当は一様に「売れていません」と応答があるが、前月の売上金額を聞くと「馬鹿を言うのもいい加減にしろ」と言いたい。ファブは施工遅延が売上減に直結しているのではないか。メーカーも流通もしっぺ返しを食らわない対応を心がけた方が良い。現在の販売状況から勘案して鉄鋼商品の品薄感は皆無である。
	B	夏場以降に向けに予定されていた建築案件が動き出した。梁、一次加工業者の山積みが高くなりつつあるのは明るい材料である。全般的に在庫品の荷動きが振るわないため時期的要因を考慮してもまだまだ盛上るまでには至っていない。消費税増税の影響もはっきりしないが、建売り住宅の建築数の増加が見受けられる。
石川	A	荷動きは決してよくない中でメーカーの値上げ以降に支えられここまで踏ん張ってきた。しかし、ここへきて、それも一部ではころびが生じている。他の地域からの参入者が引き金となり採算意識が欠如した「取ってナンボ」の経営者や営業マンが周りを巻き込みながら、結果的に自分達の首を絞める流れになっている。
	B	4月末から5月上旬の連休以後は昼も夜も何かもうひとつ活気がない。有給の取り方や使い方に慣れていないのかもしれない。荷動きも悪いが、これが普通の状態になりつつある過程であればよいが。米中の経済争いは意地の張り合いでしかなく、2者の話し合いと、もっと複数の国々を含めて真剣な討議をしないと、つまらぬ損失を生むだけである。それにしても北は扱いにくい。
富山		業種、品種問わず、下降気味。公共工事が少しばかり出始めた感あり。北陸への観光客も増加から安定化傾向へ。

愛知	A	世界情勢の影響なのか景気はパッとしない感じがする。建築もボルト不足で仕事はあっても進みが悪い。設備関係も様子見している気がする。このような状況下になると他地域からの売り込みが多くなり当地区は困っている。自動車は堅調だがわれわれ周辺には仕事が廻ってこない。
	B	鉄骨はM、Hグレードは山が高いがRグレードは山が低いところがある。米中の影響で輸出向けの梱包や建機が落ちており、形鋼やパイプの出荷は悪いところが増えている。
	C	(プロパー) 自動車は設計変更の影響で数量ダウンが続き、陳列向けも同様に厳しい状況が続いている。(集購) 集鋼はT社の計画は山が高く、秋口まで同様の傾向が続くがコストアップをいかに改善するか急務である。家具は昨年並みで推移しており、オリンピックの影響はまだ感じられない。
	D	高炉メーカーの値上げ意欲と需要家の抵抗との間に大きな温度差がある。また、この状況下での値上げは大変難しい。
三重		ファブは工期のズレ、高力ボルト、人手不足、経費高騰など、いろいろな要因で経営負担が増加している。ここ数週間の荷動きは芳しくない。残念ながら、材料価格も弱含み。こうなると少ないパイプを取り合う安値合戦が起こり、ますます悪いサイクルに突入する。
大阪	A	5月中旬頃から荷動きが良くない。ハイテンションボルトの影響もあるが、全体的に米中貿易摩擦による世界的な経済の減速が影響している。
	B	ハイテンションボルト不足で目に見えて減少していた鉄骨基礎物件も若干ではあるが、ちらほら動き出してきたが未だ力強さは程遠い。戸建て、住宅基礎はほぼ横這いと言った状況だが、全般に力強さに欠ける。新年度がスタートし、公共土木工事もちらほらであるが、動き出してきたので、今後に期待したい。
	C	定尺の動きは今ひとつだが、物流関連を中心に一次加工は堅調。
岡山		見積りが多いとは言えないが、見積りしたものの決定率が若干上回っているように感じる。自動車向けパレットも使う部材がサイズダウンして軽量化している。
香川		高力ボルト不足のため地場ゼネコンが受注し、中小ファブが加工するような物件が止まっている。中小物件がないと必然的に倉出出荷が少なく、特にH形鋼の動きが悪い。
北九州	A	スクラップ価格は底を打った状態だが、足元の需要はまったりしており、市況価格は弱含み横這い。先々の物件は見えており、不毛な競争は避けたい。
	B	東鉄の値下げ発表後、市中は静観しているが、市況値下りは必至。追従もやむなし。在庫も多く、申込みはスキップも増える。建築物件の延期、中止も散見され、予想以上に影響は悪くなっている。
	C	荷動きは悪い。米中貿易摩擦の影響があるのか。設備投資の延期、縮小をよく耳にする。中小建設物件のボルト不足も深刻のようだ。